



ほづさわの  
飯津佐和乃神社御船神事

**県** 指定無形民俗文化財「飯津佐和乃神社御船神事」が9月15日に営まれた。この神事は、江戸時代の相良湊の回船業者が海上安全や商売繁盛を祈願したのが起源とされている。当日は台風18号の接近により、突然土砂振りの雨に見舞われるなど不安定な天候。その中でも、浴衣姿の「船若」と呼ばれる青年が練り歌に合わせて、2メートルほどの菱垣廻船と樽回船の模型船である「御船」を荒々しく担ぐと、沿道の観客からは拍手が巻き起こった。行は、威勢のよい掛け声とともに相良市街を力強く練り歩いた。

